

長 崎 県 議 会 議 員

愛郷無限。  
炎のCHALLENGER

## 大久保ゆきしげ Vol. 4

Y U K I S H I G E O K U B O

皆様方にはいつも大変お世話になっております。お陰様で県議会復帰後、まもなく3年目を迎えるようとしております。

この間、無所属一人会派での活動でしたが、昨年夏に議長と副議長を擁する会派からお誘いの声がかかりました。これまで私が提言してきた政策を実現するために、大会派の中で活動する事が大きな弾みになると考え、志を同じくする無所属4名で「県民会議」を結成し、自民党第一会派と統一会派を組んでの活動になりました。

また昨年9月定例会からは農水経済委員長を仰せつかり、県内の農林水産業や商工業などの振興のため頑張っております。地方創生を長崎から成し遂げるよう県政推進に邁進して参る所存でございます。

今後とも「大久保ゆきしげ」に対しましてご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成30年春

長崎県議会議員 大久保潔重



県民の力で、  
諫早・雲仙マラソンを  
成功させよう！



成功裏に終わり、ウルトラウォーキング実行委員会の皆さんの笑顔も弾ける。



ゲストのオリンピック競歩の森岡紘一朗選手と。諫早高校の後輩である。ちなみに私は救護ボランティア。

現在、長崎県内には日本陸連公認のフルマラソン大会はなく、九州でもないのは長崎県だけ。全国でも行っていない県は5県のみ。健康志向の増大で市民ランナーも増えており、全国のフルマラソン大会はどれも1万人を超える出場者で大盛況である。

諫早市にあるトランスコスモスタジアムをスタートし、諫早市高来町から雲仙市吾妻町への諫早湾干拓堤防道路(7.5km)を渡って戻ってくるコースは最高のコースであると考え。過去2回県

議会の一般質問で提言し、H27年11月には「諫早・雲仙マラソンを成功させる会」を有志で立ち上げ、東京マラソン財団の早野忠昭事業担当局長とも連携し、H28年7月24日とH29年9月3日の2回、諫早・雲仙ウルトラウォーキングを開催した。長崎県陸協と共催で、いずれも長崎県や諫早、雲仙両市から後援を頂き、無事故で大盛況であった。

本県は長崎県スポーツコミッションを窓口として、スポーツイベントや合宿などの誘致活動に取り組んでいるが、軸とな

るビッグイベントが必要である。昨年は地元の県議・市議を中心にフルマラソン実現を支援する議員の会もできた。本年1月に、県陸協・議員の会・成功させる会・商工会議所・マスコミ3社で発起人会が立ち上がり、年度内には行政、経済界、自治会など幅広い団体で構成された実行委員会が発足する予定であり、2019年度内の開催を目指して動き出す。

日本陸連公認のフルマラソン大会を長崎県に誘致し、諫早・雲仙を中心として1万人規模のマラソン大会を実現しよう！

# 祝 日本一

▶ H29.11.11

第71回全国茶品評会で、長崎県の蒸し製玉緑茶が日本一に輝いた！おめでとうございます。



表彰を受けられた東彼杵町の尾上さんのお茶、きれいでしょ！手に取って食べてみたが、風味があり美味しかった。



全国お茶まつりの表彰式では、委員長として来賓祝辞を述べて頂いた。長崎県のお茶が、静岡県や京都府、福岡県などの強豪県と肩を並べた瞬間だ。素晴らしい！

11月定例会の補正予算では、長崎茶の全国へのPR費用が盛り込まれた。東彼杵町のお茶農家の皆さんと、ビワの葉との混合に続き、そのぎ茶の2番、3番茶と青ミカンをブレンド発酵した高機能性茶として商品化を目指すぞ！

さらに長崎県や私と交流のあるベトナムやラオスの古木茶とのコラボができないか研究中である。

## 平成29年9月定例会より農水経済委員長に就任!!

### 炎のCHALLENGER

▶ H29.11.9

長崎びわ共販百周年記念祝賀会で



来賓祝辞。簡易ハウス整備など寒害対策などを進め、日本一のびわ産地を継承していきたい。

▶ H29.10.31

長崎県多面的機能支払活動組織の集いで委員長挨拶。その日の午後からは、長崎県土地改良事業団体連合会の設立60周年記念大会も行われた。農村基盤整備のハードとソフトの両面での取り組みが重要!! 農村地域を守り、農業者の皆さんの所得を向上させ、県全体を活性



化するためには、農地の基盤整備と農村の多面的機能の発揮が必要である。

▶ H29.3.18

大阪と上海を結ぶフェリー・蘇州号が長崎港に初めて寄港。コンテナなど主に貨物を扱う小ヶ倉埠頭には、5月から稼働するガントリークレーンもあります。これから貨物取り扱い量が増えていけば、港湾としての価値も上がっていくでしょう。今回は初めての試みで、長崎のアオリイカを活魚水槽で中国にトライアル輸出。28時間の船旅では元気だったイカさんでしたが、その後の税関手続きに時間がかかり、弱ったそうです。今後の課



題と可能性が見い出せた事業です。

▶ H29.10.22

長崎魚市でのお魚祭りでテープカット



ト。農水経済委員会の水産部審議では、魚市の高度衛生化事業や太平洋クロマグロの管理、県内定置網漁業などでの対策、対馬沖海底マウンド事業、松浦市沿岸での赤潮被害対策、長崎県漁業公社の対応など幅広く議論された。

▶ H29.10.1

諫早市商工会と多良見町商工会が合併し、新諫早市商工会が誕生！祝賀会では万歳の音頭を取らせて頂いたが、



**2022年の  
新幹線開業(リレー方式)を  
見据えて工事の進む諫早駅。**



フリーゲージト  
レイン(FGT)の開  
発が遅れ、安全性  
が確保されてない。JR九州はFGTの非導  
入を表明。長崎県も全線フル規格での整  
備方針に舵を切った。さて国はどうす  
る!? 財源負担を含めた佐賀県の説得は  
どうする!? リレー方式の固定化は避けな  
ければいけないし、国で論議中のミニ新  
幹線は後戻りの施策だ! 北海道や北陸  
に対抗できる九州新幹線の新しいロ  
ジックを作り、県選出の国会議員を突き  
上げ、長崎県民の声の反映として全線フ  
ル規格を目指し、頑張りま  
しょう!!



**県央地域に、  
消費者意欲を満足させる  
商業施設を!**

諫早西部台2工区3haにイオンタウン  
が進出決定。諫早駅前や栄町東西街区  
の再開発を推進し、駅前商店街や中央  
商店街における市民の新しい街づくり  
の流れを後押ししたい。

諫早市鷲崎町の大型郊外商業施設の  
可能性。農振法に基づく農  
業振興地域整備計画の見直  
しや、長崎都市計画区域の  
線引き(調整区域)見直しな  
ど、柔軟かつ機動的な都市  
政策を迫っていきたい。



大友会で県政報告。

**Vファーレン長崎  
J1昇格、  
おめでとうございます。**

H29年11月11日のホーム最終戦をトラ  
ンスコスモスタジアムに集まった  
22407人の観客とともに観戦。来シーズ  
ンに向けた激励、応援体制の強化なら  
びに駐車場などの交通対策などの課題  
に県議会一丸となって取り組む。



**J1  
昇格**

**県央地域が県勢全体を牽引するエンジン役に!!**

これまでの両組織の皆さんの努力に敬  
意を表し、今後の支援強化に努めてま  
いります。

**▶ H29.10.30**

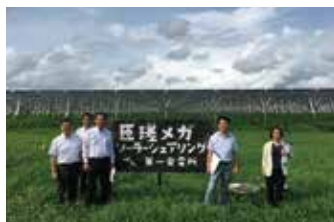
諫早市中核工業団地にある企業を県  
産業労働部幹部と視察。半導体大手の  
ソニーセミコンダクタマニュファクチャ  
リングでは、私たちが普段使っているス  
マホのカメラの心臓部を生産しており、  
世界のほとんどのシェアを誇る。生産現  
場はウイルスよりも小さい世界での作業  
であり、凄い! スマホ以外に車の自動運  
転や防犯カメラ、IOTなど今後の展開に  
期待大。



**SPP長崎エンジニア  
リング**では、航空機のラン  
ディングギアのオーバー  
ホールを行っています。

航空機は民間の旅客  
機から防衛省の戦闘機まで幅広い。地  
元企業として受注機会を増やせるよう  
応援したいし、小中学校の皆さんには是  
非、社会科見学に行ってください。

諫早市が長崎市を抜いて**県内製造品  
出荷額No1**に。県内有数の工業団地を  
抱える諫早市は交通の要衝であり、企業  
立地の実績もあり、さらに小栗地区に内  
陸型の新産業団地(約20ha)を整備中で



千葉県匝瑳市のソーラーシェアリン  
グ。3haの有機大豆畑の上に30%遮光  
率のソーラーパネル、なんと1.2メガ。

ある。可能性を秘めた県央地域への特  
段の取り組み、工業団地や企業への有  
効な投資が必要である。

諫早湾干拓地域において広大な自然  
干陸地や静穏な調整池などは、スケール  
メリットが大きな、水陸両方のスポーツ  
の場として利活用の可能性を秘めてい  
る。ボート・カヌー競技、釣り、自転車、車  
いすマラソン、クロスカントリーなど。ス  
ポーツ以外にも高来町の幻のソバ栽培  
や菜の花、コスモス畑は季節には賑わっ  
ている。再生可  
能エネルギーも  
潜在的にある。



滋賀県長浜市の農業  
用水路を活用した小  
水力発電。10Kw。

# 長崎県議会にASEAN友好議員連盟が発足!

長崎における伝統的な日中友好、日韓友好に加えて、東南アジア諸国との新たな交流の弾みになります。私もこれまでの特にベトナム、ラオスなどメコン流域の国々とのパイプを生かして、県の描く国際戦略に資する交流人口拡大と地域活性化を果たしていきたい。



## ▶ H29.5.15

駐日ラオス特命全権大使のヴィロード・スンダラー閣下が赴任後初の外遊先に長崎へ。長崎ラオス友好協会との付き合いの深さがうかがえる。

## ▶ H29.2.25

ラオスのサンティスーク運輸副大臣がラオス国営航空のセンパスート副社長と来崎。長崎ラオス友好協会主催で、稲佐山光のレストランで歓迎会。



## ▶ H29.3.9

ラオスのソーンサイ副首相とホテルオークラ福岡で面会。日本とラオスの直行便は、交流の盛んな福岡ラオス友好協会も望んでいる。



## ▶ H29.6.8

平成29年6月8日の長崎新聞朝刊記事。ラオスのトンルン首相と中村知事との面談(東京)をセットさせて頂いた。日本とラオスの航空定期便で、長崎空港経由での直行便が実現するのを期待する。

空の玄関口・長崎空港の活性化には、国内線・国際線ともに路線を拡大する

必要がある。上海以外の中国、香港、台湾、シンガポール、フィリピン、タイ、ベトナム、ラオスなどの路線を積極的に働きかけよう!



## ▶ H29.7.5

ベトナム最南部のカマウ省からスー人民委員会副委員長ほか7名が来崎。カマウ省はエビの養殖が盛んだそう。



ベトナムにおいて首都のハノイ市、長崎県の民間主導で交流のあるホーチミン市、県が正式に協定を結び友好を深める中部のクワンナム省やダナン市に加えて、今後の新たな交流の可能性を秘めたカマウ省である。

昨年に引き続き、今年も長崎県商工会連合会主催のベトナム交流人材招致事業で、ホーチミン市の高校生30名を受け入れた。県内高校生との交流、大学や企業訪問、ホームステイなど楽しく充実した期間を過ごしたとの報告あり。お願いしたホストファミリーの皆さん、有難うございました。

ベトナムの若者に長崎ファンを増やし、県内の大学や企業に来ていただく。彼らが帰国後は、貴重な現地人脈として本県産業振興に活躍していただく。



## ▶ H29.11.12 - 18

### スペイン視察

自民党・県民会議会派の7名とマドリッド、バルセロナを訪問。長崎県で力を入れている観光分野、スポーツ、文化芸術などでの先進国の取り組みを調査した。

世界遺産の保存管理や観光客受け入れ体制、スポーツ人材育成、施設管理、観光都市の持続可能な環境保全対策など参考になり、今後の長崎県の街づくりに活かしたい。



マドリッドのハイレベルスポーツセンターにて、空手女子世界チャンピオンのサンドラ選手と。

建築家アントニオ・ガウディーの作品、バルセロナのサグラダファミリア。2026年の完成を目指しているという。

### 新県庁舎が完成!

本年2月定例会で一般質問に登壇予定!日程が決まりましたお知らせしますので、新議場に傍聴にいかがですか?

### 本年3月、「地方から考える社会保障」発刊予定!

県政・国政における歯科医療、救急医療分野などでの取り組み成果と課題について原稿執筆。今後の地域包括ケア、健康長寿県を目指す長崎県の医療保健政策の指針になればいいと思う。

愛郷無限  
炎のCHALLENGER



## 大久保ゆきしげ事務所

〒854-0072 長崎県諫早市永昌町12-7  
Tel.0957-25-4744 Fax.0957-25-4745

詳しくは、大久保ゆきしげオフィシャルサイトをどうぞ!  
<http://okubo-y.jp>

日々の活動は  
Facebookにて

大久保潔重

